

高知丸高と第一コン ミャンマーに建設の 高校完成し式典行う



真。

式には、日本から高知丸高の高野広茂会長や第一コンサルタンの右城猛会長の他、高知県建設業協会の西野精晃副会長、高知県商工労働部の栗山典久副部長ら30人、ミャンマーから僧侶や政府関係者ら30人が出席した。

した工事を通じ地域貢献していく中で、高校がわずかしかない教育事情を高野会長が知り「貧しい子どもたちの夢をかなえたい」との思いを抱いたのがきっかけ。右城社長にも声を掛け共同で3月から工事を進めてきた。学校には定員80人の教室を4室配置。うち1室は日本で働くことを希望する大学を卒業した若者のため、日本語や土木工学などの専門教育を行う。机やパソコンなどの備品も両社が寄贈した。

この学校建設は、高知丸高がミャンマーで受注

高野会長は「人口が減少する中、県内の建設業や製造業では後継者が不足している。担い手確保のためには海外からの優秀な人材が必要だ」と話し、同社でも雇用を進める考えを示した。

高知丸高と第一コンサルタンスが共同でミャンマーに建設を進めていた「アマラワディー僧院高等学校」が完成し、9月17日に落成式と開校式が現地で執り行われた。写